

## 2009年度高麗美術館

### 事業計画

#### 1 高麗美術館展覧会

##### < 春季企画展 >

- きらめく朝鮮の技—螺鈿漆器と象嵌青磁 (2009/4/3～6/28) 松浦萌子

##### < コレクション名品展 >

- 蓮の清香—君子の花 浄土の花 (7/4～9/27) 片山真理子

##### < 秋季企画展 >

- 朝鮮の住まいと調度—木工家具に見る美意識 (10/3～12/23) 岩城嘉奈子

##### < 新春特別展 >

- 朝鮮 虎展 (2010/1/9～2/14) 片山真理子

##### < コレクション名品展 >

- 朝鮮 壺展 (2/20～4/4) 李須恵

#### 2 佛教大学四条センター提携講座

「朝鮮の仏教文化—人と思想と建築と」朝鮮の仏教文化に目を向け、高僧の思想をはじめ、今日に伝わる史跡、名刹の建築様式、工芸品などからその歴史を読み解きます。

- ・2009/7/4 古代朝鮮三国と日本の仏教(京都府立大学名誉教授・坂元 義種先生)
- ・ 8/22 考古学からみた朝鮮古代の仏教(佛教大学教授・門田 誠一先生)
- ・ 11/28 高麗時代の仏教建築と日本(京都大学大学院教授・西垣 安比古先生)
- ・2010/2/27 法隆寺再建時の仏教工芸品にみる百済・新羅の余影  
(奈良国立博物館名誉館員・河田貞先生)

#### 3 収蔵資料の修復 展示公開にむけてのアプローチ

- ・「詩文墨書」四枚のうちの二枚(残りの二枚は来年度に予定)
- ・「羅漢図」(朝鮮虎展出品予定品)

以上3点を修理修復し、展示公開にむけて準備するものとする。

#### 4 他美術博物館との連携

〈収蔵資料の出品〉

●【巡廻展】「朝鮮王朝の絵画と日本一宗達・大雅・若冲も学んだ隣国の美」

龍虎図(李楨)、鷺図(金明国画・林羅山賛)布袋図(韓時覚)、山水図(金正喜)など(絵画)5点

岡山県立美術館 6/5(金)～7月12(日)

〒700-0814 岡山市北区天神町 8-48

●「文房具―書院を飾る―」 6/20(土)～9/23(水・祝)

竹製輪花形長生文筆筒、白磁瓜形硯、朱漆塗螺鈿鳳凰文硯床、青花金剛山形水滴、辰砂透彫連環文筆筒、冊架図 以上6点

茶道資料館

〒602-8688 京都市上京区堀川通寺之内上る 裏千家センター内

●【巡廻展】「道教の美術 TAOISM ART」

熾盛光如来降臨図(朝鮮時代 1569年)以上1点

三井記念美術館 7/11(土)～9/6(日)

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-1-1 三井本館 7F

大阪市立美術館 9/15(火)～10/25(日)

〒543-0063 大阪市天王寺区茶白山町 1-82

長崎歴史文化博物館 2010年1月23日(土)～3/22(月・祝)

〒850-0007 長崎市立山 1-1-1

●「特別展 雨森芳洲と朝鮮通信使」9/19(土)～11/23(月・祝)

御免朝鮮人来聘行列附、朝鮮人来朝行列記 二代目喜多川歌麿、馬上才図、正徳度朝鮮通信使参着帰路行列図巻 以上4点

高月町立観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県伊香郡高月町渡岸寺 229 番地

〈展覧資料の借入〉

●「朝鮮 虎展」

鹿苑寺(金闍寺)、建仁寺兩足院、などの京都市内の寺院より数点の絵画を借入する予定。



春季企画展 나전공예와 상감청자

## 「きらめく朝鮮の技 —螺鈿漆器と象嵌青磁—

4月3日(金)～6月28日(日)



高麗螺鈿漆器(19世紀)



高麗象嵌青磁(19世紀)

朝鮮で受け継がれてきた装飾技法に、素材を埋め込むことで文様を表した螺鈿と象嵌があります。螺鈿漆器は、華麗な貝の光彩が作り出す雅な風情を、象嵌青磁は土の素朴な味わいを持ち、独自のきらめきを放っています。

自然の素材一つひとつの技に込められた美のこころに迫る、18年ぶりの螺鈿と象嵌を中心とする展覧会です。

主な出品品：高麗螺鈿箱花鳥文箱、高麗螺鈿細漆池亀文圖、青磁象嵌菊花生相華清草文高脚杯、青磁象嵌雲鶴文碗など約60点



※2009年4月から中学生以下の入館料を無料といたします。

夏季コレクション名品展 연꽃의 정향

## 「蓮の清香—君子の花 浄土の花—

7月3日(金)～9月27日(日)

「蓮」にテーマを定め、墨蹟や絵画の主題として扱われた朝鮮の蓮のありようをご紹介します。

蓮は泥中にありながら、盛夏には清らかな大輪の花を咲かせます。清く気高い蓮の性分は朝鮮でも愛され、座辺の文房具にも姿があらわされています。清香ただよう蓮の美術をおなじみの白磁壺や鉄造如来坐像とともにお届けします。

主な出品品：李瑬墨畫(7/3～8/16)、金玉均墨畫(8/16～9/27)、蓮象図、木製書見台、阿弥陀精楽会上図、木製童子立像、木製蓮形燈台など約40点



蓮象白磁(19世紀)



李瑬 墨畫(19世紀) (7/3～8/16) (約40点)



花鳥図(白磁壺、墨片) (19世紀)



漢州二層卓(19世紀)



木製象嵌彫り花盤(高麗時代後半)



漢州の韓半島を代表する韓半島の建築 (高麗時代後半)

秋季企画展 조선의 살림과 목가구

## 「朝鮮の住まいと調度 —木工家具にみる美意識—

10月3日(土)～12月23日(水・祝)

儒教精神や道家思想が脈打つ朝鮮王朝の住空間は、身分や性別によって厳格に区分されていました。そこに用いられた木工品も、陶磁器や絵画といった他の美術工芸品と同様、その時代性を反映しています。

構造とデザインに、所有者の美意識が垣間見られる木工家具を通して、朝鮮の人々の暮らしをご紹介します。

主な出品品：漢州結二層卓、華角三層卓、紙貼二層ノソ、華角面、木製小鏡、木製行灯、白磁壺、文字図、裁縫道具など約60点





新春特別展

# 「朝鮮<sup>とら</sup>虎展」



2010年  
1月9日(土)～2月14日(日)

寅年年初の展覧会には「朝鮮<sup>とら</sup>虎展」を特別に開催します。朝鮮で虎がどのように存在していたのか、虎を描いた絵画や工芸品、民俗資料を通じてその実像と神祕に迫ります。また、館蔵する白磁のやきものも併せて出品します。朝鮮の虎とともに白磁の優品を展覧できる貴重な機会です。



虎を捕る朝鮮の虎(17世紀)



山虎(18世紀)



白磁の壺(18世紀)



白磁の壺(17世紀)



白磁の壺(18世紀)

冬季コレクション名品展

# 「朝鮮<sup>つぼ</sup>の壺」



2010年  
2月20日(土)～4月4日(日)

今回は「壺」を取り上げ、その様々な姿を紹介いたします。飲食物を保存する壺、陶器用工具としての壺、描かれた壺などをメインとし、朝鮮の暮らしや習俗とのつながりについて分かりやすく展示します。大きささまざまな魅力たっぷりの壺を中心とする名品展です。

2009年度 高麗美術館 研究講座

## 「朝鮮の仏教文化—人と思想と建築と」

朝鮮の仏教文化に目を向け、高僧の思想をはじめ、今日に伝わる史跡、名刹の建築様式、工芸品などからその歴史を読み解きます。日本との関係などについても考察しつつ、朝鮮の仏教文化への理解を深めることのできる講座です。

- 日 程 各回土曜日 午後1時～2時30分
- 会 場 佛教大学四条センター (TEL.075-231-8004)  
京都市下京区西三条烏丸北東角 京都三井ビルディング4階
- 定 員 150名(先着順)
- 受講料 1,000円(高麗美術館維持会員の方はご招待)
- 申込方法 事前申込不要(当日会場にて承ります)
- お問合せ 高麗美術館研究部 (TEL.075-494-2236)

	日程	講師	主 題
第1回 (第110回)	2009年 5/23	坂元 義徳 先生 (京都府立大学名誉教授)	古代朝鮮三国と日本の仏教
第2回 (第111回)	8/22	門田 誠一 先生 (佛教大学教授)	考古学からみた朝鮮古代の仏教
第3回 (第112回)	11/28	西埜 安比古 先生 (京都大学大学院教授)	高麗時代の仏教建築と日本
第4回 (第113回)	2010年 2/27	河田 貞 先生 (奈良国立博物館名誉員)	法隆寺再建時の仏教工芸品にみる百濟・新羅の余影

※講座の日時・内容等まつむをえず変更する場合があります。

## ご利用案内

### ◎入館料

- 一般：500(400)円
- 大高生：400(320)円
- 中学生以下無料(団体観覧でも適用)



白磁の壺(17世紀)

- ※障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名まで無料。
- ※65歳以上の方は一般料金より2割引きです。年齢の分かるものをご提示ください。
- ※①内は20名以上の団体料金。
- ※事前予約にて学芸員による展示解説も行っています。詳しくは下記までお問合せください。

### ◎問い合わせ

高麗美術館 (こうりやのびじやうかん)  
〒603-8108 京都市北区紫竹上岸町15  
TEL)075-491-1192 FAX)075-495-3718  
URL)http://www.koryomuseum.or.jp/

### ◎開館時間

午前10時～午後5時  
※入館は午後4時30分まで

### ◎休館日

- ・月曜日
- ・お祝日
- ※祝日休日の場合は開館し、翌日休館
- ・展示替期間、年末年始

### ◎交通案内

- ・JR京都駅 →市バス9(約40分)
- ・四条河原町 →市バス37( )
- ・地下鉄北大路駅 →市バス37(約15分)
- ・京阪三条駅 →市バス37(約30分)

いずれも「加茂川中学前」下車すぐ  
(玄以通より北へ二階目。竹林の西側)



高麗美術館  
고려미술관 KORYO MUSEUM OF ART